

# 一般質問

## (会派代表質問)

### 自民創生

#### 文化

#### 出島の復元状況と今後の取組

**問** 本市にとって貴重な場所である出島の顕在化を図り、遺し、伝えていくべきだと考えるが、復元状況と今後の取組について伺いたい。

**答** 復元整備は平成8年から本格着手しており、平成29年度には出島表門橋と対岸の出島表門橋公園を整備したことで、橋を渡り出島へ入場できるようになっている。現在、史跡内の復元事業はおおむね中央部まで完了しており、東側エリアの復元について検討を始めたところである。なお、令和2年度からは指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを生かしながら、来場者の満足度向上に取り組んでいる。さらに、長期計画として、水に浮かぶ出島の完全復元の実現を目指しており、今後とも着実に取り組んでいきたい。

#### まちづくり

#### 銅座川プロムナードの整備

**問** 春雨通り沿いの思案橋商店街が立地する区間は未整備となっているが、にぎわいの創出に寄与するためにも、道路や治水などの整備に早急に着手する考えはないか。

**答** 銅座川プロムナードは、まちぶらプロジェクトの一環として、銅座川の暗渠をオープンにし、まちなかのにぎわい創出のため、水辺を楽しめる広い歩道を整備し、車道を設けて交通の円滑化を図る事業である。該当する区間は、銅座川プロムナードの一部として位置づけているが、バスベイやタクシーベイなどがなく、通過交通の妨げになっており、老朽化した建物が災害時に倒壊する危険性があるなど多くの課題を抱えている。

したがって、現在施工中の銅座工区の整備状況等を踏まえつつ、切れ目なく事業が継続できるよう、整備内容や手法などについて具体的に検討していきたい。



▲銅座川プロムナードイメージパース

### 市民クラブ

#### 新型コロナウイルス

#### 新型コロナウイルス感染症3回目ワクチン接種の状況

**問** 本市の接種状況について伺いたい。

**答** 2回目からの接種間隔が8か月経過した医療従事者等を中心に、令和3年12月から3回目の接種を開始し、令和4年1月には医療従事者など一部対象者の接種間隔を8か月から6か月に短縮している。さらに2月上旬からは接種間隔の短縮を全ての方に広げて実施している。2月20日現在の本市の接種率は、14.5%と全国平均を上回っており、高齢者施設などの入所者や従事者への接種は、2月末までに9割以上の施設で完了する見込みである。



今後は、個別接種に加え、集団接種会場を10会場に増設し、県庁の大規模接種会場や企業等による職域接種によりスピードアップを図るとともに、1・2回目と異なるワクチンを使った交互接種の不安や疑問を解消するため、その安全性や効果などについて周知を図っていく。

#### 観光

#### 軍艦島(端島炭坑)30号棟の現状と見学通路への影響

**問** 国内最古の鉄筋コンクリート造アパートである端島炭坑30号棟の現状と、倒壊した場合の見学通路への影響について伺いたい。

**答** 30号棟は、建設から100年以上経過し、塩害により鉄筋の腐食及びコンクリートの劣化が著しく、保全措置は大変困難とされている。現在、定点カメラによるモニタリングと、GPS機器による建物の変位測定により監視を続けているが、研究者からは現時点ではすぐに倒壊する状況ではなく、仮に倒壊した場合でも見学通路は30号棟から一定の距離があるため、影響はないものと判断されている。

また、本市で記録している端島炭坑全体の様子を基に、ICTを活用し30号棟を現地では体験できるような公開方法を検討するとともに、今後とも計測を続けながら、来訪者が安全に島内を見学できるよう取り組んでいきたい。



▲端島炭坑30号棟